

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

鰯ヶ沢町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

青森県西津軽郡鰯ヶ沢町

3 地域再生計画の区域

青森県西津軽郡鰯ヶ沢町の全域

4 地域再生計画の目標

鰯ヶ沢町の人口は、合併時の昭和 30（1955）年の 23,026 人から一貫して減少傾向となっており平成 27（2015）年の国勢調査では 10,126 人、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、令和 27（2045）年には 3,959 人まで減少する見通しとなっています。

人口減少は、社会減として転入数は、昭和 49（1974）年の 988 人以降、減少傾向にあり、昭和 49（1974）年の転入数 1,345 人から差は縮小しているものの、日本全体での人口減少により、転入数の減少が続いており、転入数が転出数を上回ることなく減少が続いており平成 27（2015）年には転入数（222 人）、転入数（290 人）と依然として減少傾向にあります。これにより、地域経済の低迷による雇用状況の悪化や低賃金など不安定な生活があげられ、進学や就職を契機に若年層の町外への転出が多いことや、転出先で生活基盤を築くことも考えられます。

自然減として出生数は、昭和 47（1972）年の 322 人以降、減少の一途を辿っている一方で死亡数は増加し平成 2（1990）年には死亡数（162 人）が出生数（140 人）を上回る自然減に転じ、以後減少幅は年々拡大しており、平成 27（2015）年には、出生数（42 人）、死亡数（219 人）と差が開いてきています。晩婚化や非婚化、経済的な安定が確保できないことなどが出生数減少と考えられます。

そして、人口減少が進むことで様々な影響が懸念されます。

地域産業・地域経済においては、これまでも就業者数は減少傾向で推移してい

ましたが、生産年齢人口の減少に伴い、就業者数は今後も減少傾向で推移することが予想されます。また、各産業における高齢化や担い手不足により、今後、各社の経営・継続が困難になることが懸念されます。

地域社会への影響としてや、過疎化が進行すると推測され、地域文化や自然環境にも悪影響を及ぼし、住民が暮らしていくうえで大変な不便が生じてくると予想されます。また、近所付き合いや町内会活動が停滞するため、これまで築き上げてきた地域コミュニティも維持できなくなり、特に、災害時の相互扶助機能の低下が懸念されます。

これらの課題に対応するため、次の事項を基本目標と定め、安定した地域経済を構築し、若年層の流出を最小限に食い止め、高齢者が活躍できる地域を目指し、結婚・子育ての支援の充実を図り、すべての町民が安心して生活できる豊かな生活環境と誇れるやさしい町の構築に取り組んでいきます。

- ・基本目標Ⅰ 地域の稼ぐ力を向上 ～地域経済好循環、魅力あるしごと創出～
- ・基本目標Ⅱ 地域の魅力向上 ～魅力発信、観光推進、関係人口拡大、移住・定住促進、若者の還流～
- ・基本目標Ⅲ 生活満足度向上 ～出産・子育て支援、健康づくり、教育の充実、安心できる生活～

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始定時点)	目標値 (2025年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	総生産額	255億円	285.6億円	基本目標Ⅰ
	各産業就業者数	4,672人	4,371人	
	新規就農者数	1人	計6人	
	商工支援活用者数	創業支援1件 空き店舗支援1件	創業支援計6件 空き店舗支援計6件	

イ	観光消費額	26.9億円	30.1億円	基本目標Ⅱ
	町内延べ宿泊者数	99,144人泊	111,000人泊	
	町内延べ宿泊者数のうち インバウンド宿泊者数	12,539人泊	14,000人泊	
	生産年齢人口の割合	51.8%	43.3%	
ウ	合計特殊出生率	1.43	2.07	基本目標Ⅲ
	特定健診受診率	32.2%	36.1%	
	平均寿命	男性78.9歳 女性86.1歳	男性79.9歳 女性87.1歳	
	自殺者数	0人	0人	
	危険空家数	47件	41件	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

鰯ヶ沢町まち・ひと・しごと創生事業

ア 地域経済の好循環と魅力あるしごとの創出による地域の稼ぐ力向上事業

イ 魅力発信、観光推進、関係人口拡大、移住・定住促進、若者の還流による地域の魅力向上事業

ウ 出産・子育て支援、健康づくり、教育の充実、安心できる生活に資する生活満足度向上事業

② 事業の内容

ア 地域経済の好循環と魅力あるしごとの創出による地域の稼ぐ力向上事業

安心安全な農林水産物の生産に努め、地産地消体制の構築や新たな販路拡大、新産業の創出、観光産業との連携により、魅力があり且つ稼ぐ力・継続できる力を持ったしごとづくりを推進する事業。

【具体的な取組】

- ・地産地消の体制の構築
- ・地域産品の付加価値工場となる取組を推進 等

イ 魅力発信、観光推進、関係人口拡大、移住・定住促進、若者の還流による地域の魅力向上事業

S N Sなどを活用し、新たな客層の観光客の増加、またリピート率を高める取組が関係人口や移住者の獲得に繋がるものとし、観光客が満足できる受け入れ体制を構築し、もう一度訪れたい・住みたいと思うまちづくりを推進する事業。

【具体的な取組】

- ・タウンプロモーションの推進
- ・地域の「食」によるトップセールスの実施 等

ウ 出産・子育て支援、健康づくり、教育の充実、安心できる生活に資する生活満足度向上事業

安心して結婚、出産・子育てができる環境づくりと、寿命の延伸に向けて、保険・医療体制や相談・支援体制の充実、町民の健康確保に努め、若年世代や子育て世代から選ばれ、このまちで生涯を終えたいと思わせるまちづくりを推進する事業。

【具体的な取組】

- ・出会いの場の創出、出会いサポート体制の充実
- ・質の高い教育・保育の実施及び保育士の育成・確保 等

※なお、詳細は、第2期鯉ヶ沢町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4 の数値目標に同じ。

④ 寄附の金額の目安

20,000 千円 （2020 年度～2025 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C A サイクル）

【検証方法】

毎年度 2 月頃、外部有識者で組織する鯨ヶ沢町総合戦略会議内において、本事業の K P I による効果と今後の事業の方針について検証を行い、検証後、本町公式 W E B サイト内で公表する。

⑥ 事業実施期間

2020 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

2020 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで